

道路事業

社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

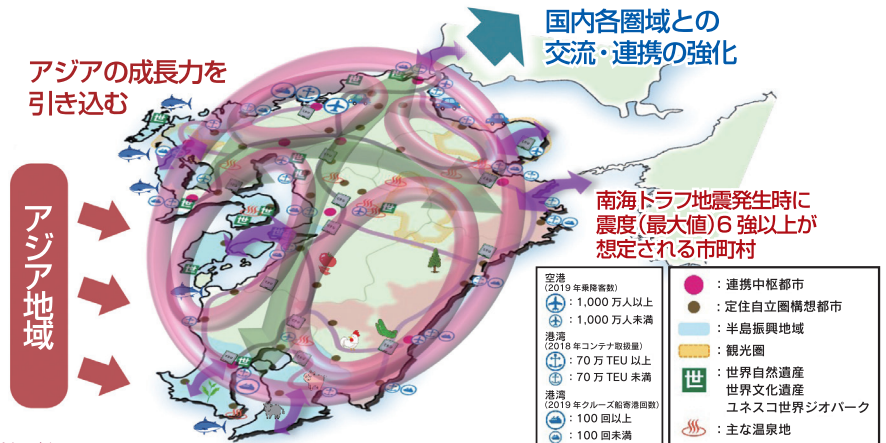
新広域道路交通ビジョン・計画

九州の将来像実現に向けた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定（R3.7）しました。「クロス」を中心とする骨組みを軸に、いくつもの「リング」を形成し、九州全域に広域な道路ネットワークを行き渡らせるとともに、災害に対するネットワークの強靱化を図ります。

『クロス』から『リング』へ 九州リングネットワーク

■『クロス』九州の南北・東西軸をつなぐネットワーク

■『リング』クロスを中心に、リングで新たに連携するネットワーク



広域道路ネットワーク整備の推進

九州の道路ネットワークを整備し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図ります。

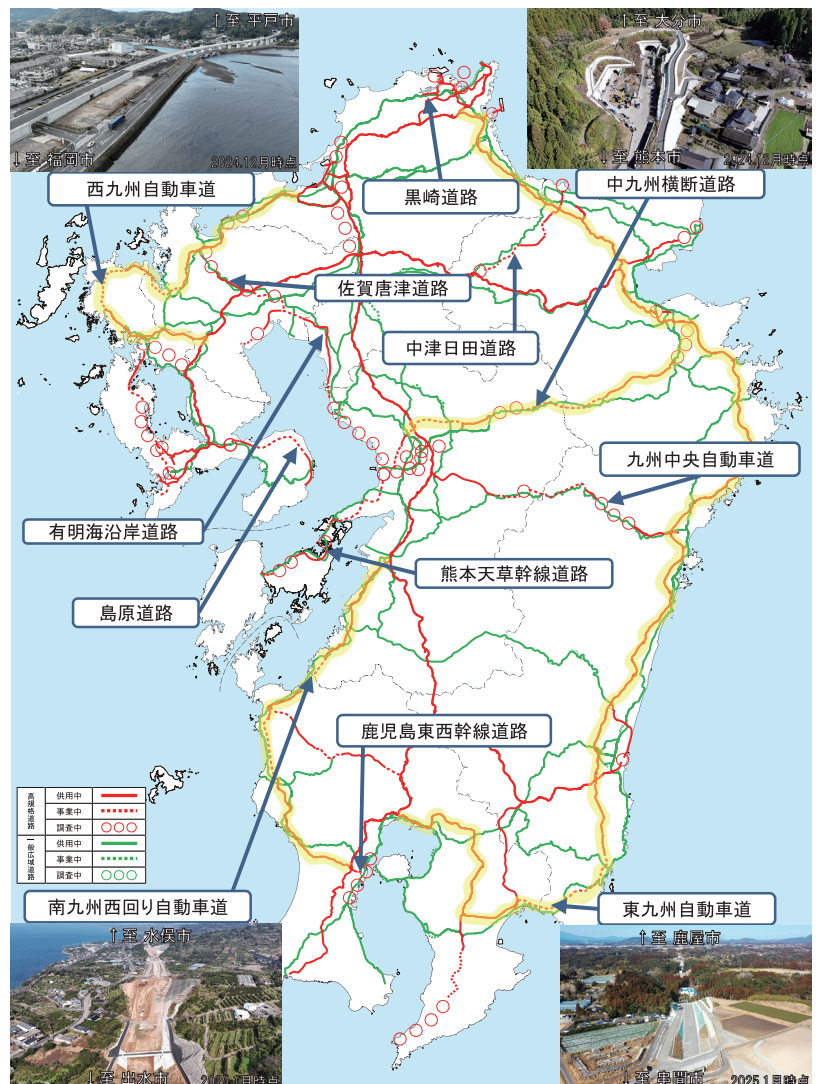
また、シームレスな拠点連結型国土の形成を図るとともに、デジタル実装した社会を支え、人流・物流の円滑化・活性化を図るため、地域・拠点をつなぐ広域道路ネットワークの整備を推進します。

【令和7年度新規事業箇所】

- 一般国道201号
みやこ行橋バイパス 延長：7.4km
- 一般国道57号
熊本環状連絡道路 延長：3.9km

【主な事業中の高規格道路】

- 九州中央自動車道
 - 東九州自動車道
 - 南九州西回り自動車道
 - 西九州自動車道
 - 黒崎道路
 - 鹿児島東西幹線道路
 - 中九州横断道路
 - 熊本天草幹線道路
 - 島原道路
 - 佐賀唐津道路
 - 有明海沿岸道路
 - 中津日田道路
- 総延長：約240km



国土交通省が今後目指す高規格道路ネットワークのあり方として、「2050年、世界一、賢く・安全で・接続可能な基盤ネットワークシステム」、通称「ワイズネット」を掲げております。

詳しくはコチラから⇒



防災・減災、国土強靱化の強力な推進(道路)

交通の安全安心確保

通学児童や歩行者等の安全・安心な歩道空間を確保するため、通学路対策等を推進します。

ゾーン30プラスとは

- ・物理的デバイス(ハンプ・狭さく等)と最高速度30km/hの区域。
- ・規制との組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域。



※スムーズ横断歩道

- ・車道方向にハンプ構造を設置し、自動車の走行速度を低減。
- ・歩道と横断歩道の段差を解消し、通行をスムーズに。

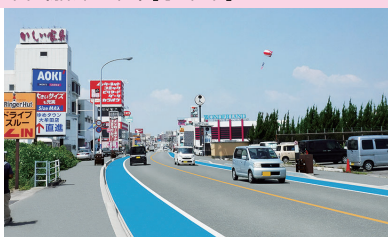
無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観形成、観光振興の観点から令和3年5月に策定した無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を推進します。

国道208号 福岡県大牟田市(船津地区)【事業中】



▲整備前



▲整備後イメージ

●「無電柱化推進計画」の基本的な方針

- ・新設電柱を増やさない
(特に緊急輸送道路の電柱を減少)
- ・徹底したコスト縮減
(平均して約2割のコスト縮減)
- ・事業のスピードアップ
(事業期間半減(約7年→4年)を目標)

インフラの老朽化対策

急速に進む施設の老朽化に対応するべく、老朽化対策を推進します。対策にあたっては定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

トンネル定期点検



九州道路メンテナンスセンター
による自治体への技術助言状況



効率化、省力化のため
DXを活用



魅力ある地域づくり

「道の駅」第3ステージの取組の推進

「道の駅」の第3ステージとして、防災機能強化、地域センター化等に向けた取組を推進します。

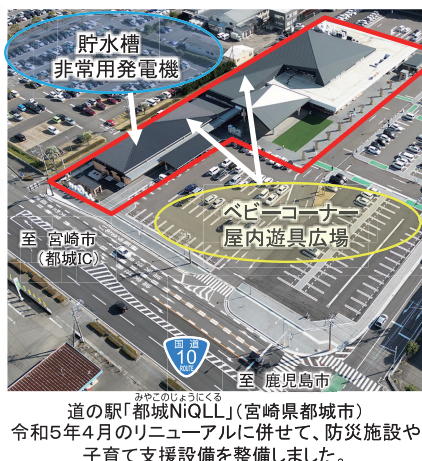
防災拠点化

防災機能強化

防災施設(貯水槽)



防災施設(非常用発電機)



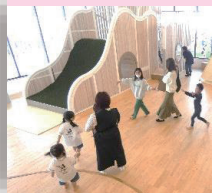
道の駅「都城NiQLL」(宮崎県都城市)
令和5年4月のリニューアルに併せて、防災施設や
子育て支援設備を整備しました。

地域センター化

子育て支援設備(授乳室)



子育て支援設備(屋内遊具)



・防災道の駅「うきは」より、被災地へ
防災用コンテナ型トイレを派遣しました。

防災用コンテナ型トイレ外観



被災地での利用状況

